

令和5年3月2日
地域振興部文化観光課

江東公会堂（ティアラこうとう）の改修について

1 施設概要

開設年月	1994年(平成6年)12月			
改修履歴	小規模改修(平成19年・平成28年)			
構造	地上5階、地下2階			
面積	敷地面積	6,352.5 m ²	延床面積	13,392.7 m ²
主要施設	大ホール(1,228席)、小ホール(140席)、練習室、会議室等			

2 検討経過

- 舞台、ホールなどの専門性の高い施設の改修に実績のある専門業者を活用しつつ、令和4年度中に設備劣化状況の調査、改修項目の抽出等を行い、改修方針を検討。

3 江東公会堂の現状

- 東京シティ・バレエ団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団との芸術提携を強みとした事業を展開する、区民の文化芸術活動のシンボル的施設。
- コロナ禍前は年間70万人以上の利用があり、利用者アンケートでは、施設満足度が80%以上と高評価。
- 竣工から約29年が経過し、建物性能や機械設備の経年劣化が進行。

4 具体的な改修方針

課題	プロ仕様（提携団体）まで対応する高品位な音場が維持されている一方で、 <ul style="list-style-type: none">約29年間、主要設備はほぼ未改修の状況であり、舞台設備がデジタル未対応。既存不適格事項となっている大ホールの天井を含め、改修が急務な状況。一部貸出施設の建設時の設定用途と区民ニーズに乖離が発生。
方針	<ul style="list-style-type: none">大ホールの特性である音場は確実に維持しつつ、デジタル舞台設備も導入。主要な設備機器の全面改修に加え、館内全域のネットワーク環境を充実。区民ニーズを捉えた空間利用の高度化を図るため、施設の機能転換等を実施。

5 今後のスケジュール（予定）

提携団体との強みを活かし、引き続き区の芸術文化活動の拠点となる役割を果たせるよう、令和5年度から事業化を行い、設備改修及び各種機能の高度化を図る。

屋外空間の活用も視野に入れた事業展開が図れるよう検討し設計を進めていく。

- 令和5・6年度：設計
- 令和7～9年度：工事